

一般会計

歳入総額 372億9,882万円

歳出総額 361億6,263万円

市の会計のうち、基礎的な経理を中心とした会計です。

令和5年度の予算は主に次のように使われました。主なもののため、合計は一致しません。(万円未満四捨五入)

令和5年度決算を認定

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、前年度の決算について議会の認定を受けなければなりません。

9月19日、20日の2日間にわたり開催された予算決算委員会において決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。

特別会計・企業会計

一般会計と分けて経理する必要があるため、事業別に分けられた会計です。

※万円未満四捨五入

		歳入総額(A)	歳出総額(B)	差引額(A)-(B)	
特別会計	国民健康保険	78億1,961万円	77億967万円	1億994万円	
	後期高齢者医療	9億2,942万円	9億2,753万円	189万円	
企業会計	水道事業	収益的収支	12億3,631万円	11億5,992万円	7,639万円
		資本的収支	1億4,057万円	6億55万円	▲4億5,998万円
	下水道事業	収益的収支	25億9,975万円	24億8,910万円	1億1,065万円
		資本的収支	8億1,275万円	13億1,260万円	▲4億9,985万円

水道および下水道事業会計(資本的収支)の不足分は、損益勘定留保資金などで補填されました。

人事管理事務



総務費
47億1,508万円

問 決算額が最終予算額に対して40%ほど減少している理由は。

答 主に国等からの派遣職員に係る旅費の執行残及び職員採用試験に係る委託料等の執行残が出たため。

問 田原市職員採用試験の応募状況は。

答 令和5年度の職員採用試験の応募状況は、前年度より全体で20人減少をしており、職種によっては応募者がいない、または非常に少ない状況である。

会計事務

問 窓口納付手数料のキャッシュレス決済はどこで多く利用されているか。

答 児童クラブ利用料が最も多く860件、博物館観覧料などが340件、サンテパルクたはらの体験工房体験料などが253件である。

生活困窮者自立支援事業



民生費
106億7,623万円

問 相談事業や就労支援の対象者の傾向は。

答 現在は、コロナ禍を過ぎたことによる新規登録数の減少は見られるが、支援を必要とする世帯数は年々増加傾向にある。

問 決算額を見ると、昨年度の3070万円強の決算額から2750万円強で、伸び率がマイナス10・5%となっているが、生活困窮者の自立支援の制度の内容などが変わったのか。

答 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金という給付制度があったが、令和4年度に終了したため、実績額が減少した。令和4年度は234万円という支給実績であった。